# 令和7年度全国学力学習状況調査等の分析

## 全国学力学習状況調査(6年生で実施)より

全体正答率			<b>────────────────────────────────────</b>						
rr p -1			474.4 15 IT IN						
		R2	R3	R4	R5	R6	R7		
国語	本校	未新	62	69	71	70	71		
	玉	未新型の	64.9	65.8	67.4	67.7	66.8		
	都	]	68	69	69	70	70		
	都との差		<b>▲</b> 6	0	2	0	1		
		カス良							
算数	本校	心染症	68	64	66	61	65		
	围	のたっ	70.3	63.3	62.7	63.4	58		
	都		74	67	67	68	64		
	都との差		<b>▲</b> 6	<b>▲</b> 3	<b>▲</b> 1	<b>▲</b> 7	1		
理科									
	本校			68			58		
	玉			63.3			57.1		
	都			65			60		
	都との差			3			<b>▲</b> 2		

調査実施をした全ての教科において、概ね東京都平均の正答率であった。昨年度と比較すると国語と算数の正答率が向上した。特に算数は8ポイントと大幅な向上が見られた。

# 問題形式別正答率

選択式の問題の正答率									
R2			R3	R4	R5	R6	R7		
国語	本校	未新	71.7	76.6	79.2	73.2	69.4		
	田	未新型の施力に	71.9	71.9	73.7	69.9	64.7		
	都	]	75.6	75.3	75.9	73.0	68.7		
	都との差	未実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	▲3.9	1.3	3.3	0.2	1		
		カスス							
算数	本校	心染症	74	53.4	60.7	73.4	74.2		
	玉		76.2	73.9	57.9	75.3	67.2		
	都	<u> </u>	80.1	56.7	63.2	79.2	73.5		
	都との差		<b>▲</b> 6.1	<b>▲</b> 3.3	▲2.5	<b>▲</b> 5.8	0.7		
理科	本校			69.5			56.1		
	玉			66.8			54.7		
	都			69.4			57.9		
	都との差			0.1			<b>▲</b> 1.8		

		_		<b>教科担任制</b>					
短答式の問	問題の正答響								
		R2	R3	R4	R5	R6	R7		
国語	本校	未 新	64.6	60.7	68.1	58.7	80.4		
	玉	未 新 実 型 施 二	70.7	63.8	62.9	59.7	78.5		
	都		71.3	65.7	66.4	63.1	80		
	都との差		<b>▲</b> 6.7	<b>▲</b> 5	1.7	<b>▲</b> 4.4	0.4		
		ルス							
算数	本校	末実施	73.6	75.3	78.5	60.2	71.4		
	玉	のたった	75.9	70.7	74.9	62.0	64		
	都		79.1	80.6	78	67.6	69.3		
	都との差		<b>▲</b> 5.5	<b>▲</b> 5.3	0.5	<b>▲</b> 7.4	2.1		
理科	本校			72.3			65.4		
	玉			66.2			69.7		
	都			67			70.6		
	都との差			5.3		<b>▲</b> 5.2			
記述せの問	問題の正答響	<b>k</b>							
ロンですべっとし	小佐マンエーロー			<del>3</del> X	<b>科坦</b> 甘制				
		R2	R3	R4	R5	R6	R7		
国語	本校	未新	35.7	56.8	46.9	64.8	66.7		
	玉	未 新 上 実 型 二 施 二	40.4	51.4	51.2	64.6	58.8		
	都	╸ 무	44.2	53.9	51.4	63.7	59.3		
	都との差		<b>▲</b> 8.5	2.9	<b>▲</b> 4.5	<b>▲</b> 1.1	7.4		
		ルス							
算数	本校	ロナウイルス感染症のため	49.4	61.2	49.8	46.1	40.0		
	玉	型のたり	53.2	57.7	47.6	51.0	34.9		
	都	め	56.2	62.7	52.4	55.1	40.7		

選択式、短答式の問題においては、国語と算数は東京都の平均正答率を上回り、理科は下回った。特に理 科は短答式の問題に課題があることが明らかになったので、日々の授業改善に生かしてしていく。

**▲**6.8

**▲**1.5

58.9

47.3

49.6

9.3

**▲**2.4

**▲**9

▲0.7

53.9

45.2

46.6

7.3

都との差

本校

玉 都

都との差

理科

記述式の問題においては、国語と理科は東京都の平均正答率を上回り、算数は下回った。特に、国語と理 科は共に大幅に上回っており、考えて表現する力が高まっていることが伺える。算数は、令和3年度から経 年でみていくと、今年度が最も東京都平均に近付いたことが分かる。このことから算数も考えて表現する力 が高まってきていることがいえる。

#### 問題の内容別正答率 ※全質問項目から一部抜粋

	項目	本校	玉	都	都との差
	自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる	73.5	61.3	62.1	11.4
国語	文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができる	68.6	51.3	56.2	12.4
	情報と情報、語句と語句の関係を理解し使うことができる	59.8	63.1	66.9	<b>▲</b> 7.1
	図形の面積の求め方を、式や言葉を用いて記述することができる	46.1	37	43.5	2.6
数 がで 目	「増量後の量」が「増量前の量」の何倍になっているかを表すこと ができる	57.8	40.9	52.3	5.5
	目的に応じて適切なグラフを選択して出荷量の増減を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できる	29.4	31	34	<b>▲</b> 4.6
	差異点や共通点を基に、新たな問題を見いだし、表現することができる。	50	29.9	33.4	16.6
理 科	問題を解決するための観察、実験の方法が適切であったかを検討 し、表現することができる	52	50.6	49.9	2.1
	ヘチマの花のつくりや受粉についての知識が身に付いている	54.9	70.7	69.7	▲14.8

国語においては、書く力と読む力の高まりが見られる一方で、情報を扱う力に課題が見られた。算数においては、問題の解法を式や言葉を使って説明する力や数値の変化量を算出する力等の高まりが見られる一方で、データを活用する力に課題が見られた。理科では、明らかにしたい問題を見いだしたり、問題の解決の仕方が適切であったかを振り返る力の高まりが見られる一方で、理科に関する知識の定着に課題が見られた。

### 質問紙から見る本校の児童の傾向 ※全質問項目から一部抜粋

項目	本校	玉	都	都との差
国語の授業はよくわかりますか	40.2	35.9	40.9	▲0.7
算数の授業はよくわかりますか	56.1	41.7	47.8	8.3
理科の授業はよくわかりますか	69.2	52.4	52.9	16.3
総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	47.7	37.5	42.5	5.2
5年生までに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか	40.2	34.4	34.4	5.8
自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	27.1	32.6	33.6	<b>▲</b> 6.5
学校が休みの日に、1日どれくらいの時間勉強をしますか ※1時間以上学習する人の割合	24.3	21.5	34.5	▲10.2
PC・タブレットなどの ICT 機器を使って情報を整理することができると思いますか。	28	26.9	33.6	<b>▲</b> 5.6

「授業のわかりやすさ」を問う項目では、算数と理科は東京都の平均値を大幅に上回った。国語については わずかに下回ったので、日々の授業改善に生かしていく。また、総合的な学習の時間の充実や児童の考えやペース、習熟度に応じた学習の実現が成されてきていることが明らかになった。今後は、学び合う楽しさを実感させる指導やICT機器を活用した効果的な学習の在り方について検討していく。そして、家庭学習の習慣を身に付けられるよう、保護者への協力を仰いでいく。